



## 2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年7月13日

上場会社名 株式会社 F I X E R 上場取引所 東  
 コード番号 5129 URL https://www.fixer.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 清一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 磐前 豪 (TEL) 03(3455)7755  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年8月期第3四半期の業績 (2022年9月1日~2023年5月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	8,895	31.4	1,877	16.2	1,855	15.0	1,169	17.1
2022年8月期第3四半期	6,771	—	1,614	—	1,612	—	998	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年8月期第3四半期	80.73		74.92					
2022年8月期第3四半期	73.11		—					

- (注) 1. 2021年8月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第3四半期の対前年同四半期の増減率については記載していません。  
 2. 当社は、2022年6月2日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 2022年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載していません。  
 4. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2023年8月期第3四半期	6,916	79.5	5,502	79.5		
2022年8月期	7,188	44.7	3,211	44.7		

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 5,500百万円 2022年8月期 3,210百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	12,132	6.8	1,863	△22.2	1,861	△22.2	1,178	△21.2	81.04	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年8月期3Q	14,706,600株	2022年8月期	13,663,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年8月期3Q	35株	2022年8月期	一株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期3Q	14,484,592株	2022年8月期3Q	13,663,200株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、2022年6月2日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が低下し、社会経済活動の正常化を背景に、緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で世界的なインフレ傾向が継続しており、国内経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社が属する国内の情報サービス産業においては、デジタル化の推進による効率化への需要は引き続き強く推移しております。特にアナログな事務作業のデジタル化や、オンプレミスで運用されているレガシーシステムのクラウド化へのニーズは非常に強く、エンジニア不足の状態が継続しております。

このような環境下、当社はクラウドネイティブカンパニーとして、「日本のエンタープライズシステムにグローバル品質のクラウドパワーを」をミッションに掲げ、世界一クラウドネイティブなシステム開発力と最高位パートナー認定「Azure Expert MSP」のマネージドサービスの提供を通じて、日本のDX(デジタルトランスフォーメーション)の加速に取り組んでまいりました。

具体的には、プロジェクト型サービスで開発したシステムを、Microsoft Azureを中心としたパブリッククラウド上で保守・運用を請け負うマネージドサービスと、パブリッククラウドの販売を行うリセール、顧客ニーズの高い機能をプラットフォーム化した高付加価値のSaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)として提供してまいりました。

2020年8月期より開発・運用を請け負ってきた厚生労働省の新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS)において、ライセンスの高水準での利用が継続しております。

一方で、感染者数の減少や新型コロナウイルス感染症の5類相当への移行に伴い、健康観察業務を支援する自動架電サービス(SaaS)の利用が大幅に低下しました。公益財団法人の大型AWS(Amazon Web Services)移行案件については、開発スケジュールの見直しを行っております。コスト面では将来の成長を支える人材として、4月に83名の新卒エンジニアが入社し大幅な増員となりました。引き続き積極的な採用活動にも取り組んでいる他、生成型AI(Azure OpenAI Service)を活用したエンタープライズGPTプラットフォーム「GaiXer」を開発し、提供を開始する等、成長投資の強化に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高8,895,509千円(前年同期比31.4%増)、営業利益1,877,041千円(前年同期比16.2%増)、経常利益1,855,312千円(前年同期比15.0%増)、四半期純利益1,169,341千円(前年同期比17.1%増)となりました。

なお、当社の事業はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は6,916,263千円となり、前事業年度末に比べて272,294千円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,540,251千円、有形固定資産が182,836千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が2,171,475千円減少したことによるものであります。有形固定資産の増加は、主に東京本社増床等により建物付属設備が101,071千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は1,414,085千円となり、前事業年度末に比べて2,562,551千円減少しました。これは主に、買掛金が1,488,362千円、未払法人税等が767,384千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は5,502,178千円となり、前事業年度末に比べて2,290,257千円増加しました。これは、資本金が560,496千円、資本剰余金が560,496千円増加し、四半期純利益1,169,341千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2022年12月15日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません、

なお、業績予想などの将来予測情報につきましては、現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の実績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,688,135	5,228,386
売掛金及び契約資産	2,874,935	703,459
その他	142,710	192,025
流動資産合計	6,705,780	6,123,871
固定資産		
有形固定資産	99,411	282,248
投資その他の資産	383,365	510,143
固定資産合計	482,777	792,391
資産合計	7,188,558	6,916,263
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,143,915	655,553
1年内返済予定の長期借入金	80,393	30,833
未払法人税等	934,402	167,018
賞与引当金	163,630	55,610
その他	616,012	485,695
流動負債合計	3,938,353	1,394,710
固定負債		
長期借入金	38,283	19,375
固定負債合計	38,283	19,375
負債合計	3,976,636	1,414,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	650,546	1,211,042
資本剰余金	615,546	1,176,042
利益剰余金	1,944,254	3,113,596
自己株式	—	△76
株主資本合計	3,210,346	5,500,603
新株予約権	1,575	1,575
純資産合計	3,211,921	5,502,178
負債純資産合計	7,188,558	6,916,263

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	6,771,527	8,895,509
売上原価	4,179,585	5,662,378
売上総利益	2,591,941	3,233,130
販売費及び一般管理費	976,986	1,356,088
営業利益	1,614,955	1,877,041
営業外収益		
受取利息	11	22
雑収入	—	727
営業外収益合計	11	749
営業外費用		
支払利息	2,282	632
上場関連費用	—	7,900
株式交付費	—	11,839
為替差損	—	2,106
雑損失	—	0
営業外費用合計	2,282	22,479
経常利益	1,612,683	1,855,312
税引前四半期純利益	1,612,683	1,855,312
法人税等	613,712	685,970
四半期純利益	998,970	1,169,341

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり2022年10月5日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式600,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ369,840千円増加しております。

また、2022年11月7日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式300,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ184,920千円増加しております。

その他、新株予約権の行使による増加を含め、当第3四半期会計期間末において資本金が1,211,042千円、資本剰余金が1,176,042千円となっております。